

まちかど トピックス

1～2月



富田林駅南口



富田林駅地下通路



本町公園



寺内町みんなの広場



旧杉山家住宅



じないまち交流館

アートで繋がる！ 近鉄・芸大・市が産官学連携！

2月10日、11日、富田林寺内町界隈で「アート散策in富田林じないまち」を近畿日本鉄道株式会社と本市の共催で、大阪芸術大学の協力のもと開催しました。

訪れた人は、旧杉山家住宅やじないまち交流館などに展示された同大学工芸学科や富田林に縁のある作家のアート作品を巡り、寺内町の美しい町並みとアート散策を楽しんでいました。また、本町公園などではワークショップなどが行われ、参加した子どもたちは大はしゃぎでアートを体験していました。

また、近鉄富田林駅南口の壁面にミューラルアート（制作：高橋 洋平さん）が完成し、富田林駅地下通路にはまちかどミュージアムを設置していますので、富田林駅をご利用の際はぜひご覧ください。



とっぴーも祝福！ 読書って楽しい！

2月1日、^{トピック}Topic（きらめき創造館）で、「とっぴーと読もう！富田林市読書感想文コンクール」表彰式が開催されました。

同コンクールは、子どもたちの読書活動の推進とさらなる学習意欲の向上を目的に、市内在住の小・中学生を対象に、毎年開催しているものです。今回は、2895作品もの応募があり、その中から市長賞・教育長賞各3作品、とっぴー賞15作品が選ばれました。

表彰式では、代表者の感想文が本人の朗読により披露され、温かい拍手に包まれました。また、表彰状の授与では、緊張しながらも子どもたちに笑顔が見られました。



鍋で心も体もポカポカ

1月13日、富田林寺内町界隈で、寺内町の冬の恒例イベント「新春・初鍋めぐり」が4年ぶりに開催されました。

豚汁やちゃんこ鍋、猪鍋などの和風のものから、クラムチャウダーやミネストローネ、ポタージュなどの洋風のものまで、さまざまな種類の鍋がせいぞろいしました。

当日は、風が強く、寒さが厳しい一日でしたが、訪れた人は、「寒いなかで食べるから、より一層おいしく感じる」と、冬の風情も楽しんでいました。



小学生がダイコン販売で被災地を支援

1月26日、市役所の第一駐車場で、市立富田林小学校の児童が学校菜園で栽培したダイコン120本を販売しました。

当日は児童が自分たちでお客さんの呼び込みや商品の袋詰めなどをしており、ダイコンを買い求める人で大繁盛し、10分ほどで完売しました。

売上金は令和6年能登半島地震の支援として被災地へ全額寄付します。

災害について学び、備える

2月3日～12日に、本市と包括連携協定を結び、向陽台のエコール・ロゼを運営している株式会社関西都市居住サービスによる防災企画展が開催されました。同展は「南海トラフ地震に備える」をテーマとし、東日本大震災をはじめとする、過去に発生した地震の記録を写真、古文書などで振り返るものです。

訪れた人々は、真剣な表情で展示された防災マップや防災備品などを熱心に見つめていました。



エコール・ロゼ1階アトリウム広場